カチエル・セミナー復習問題解答・解説

財務諸表分析

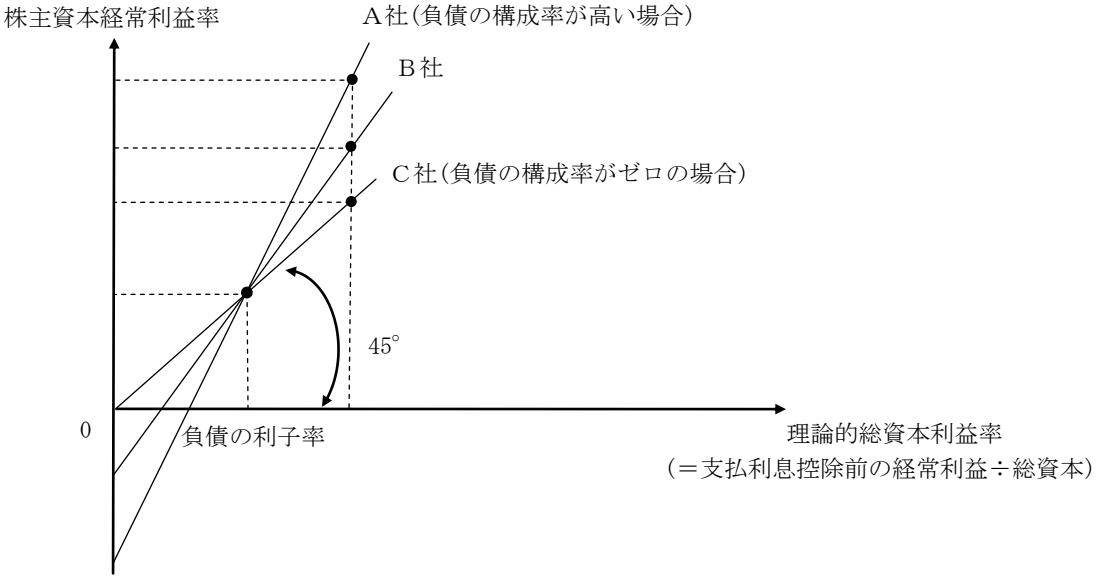
問題１

問１　総資本経常利益率　5　％　○

問２

①　株主資本経常利益率　20　％　○

②　株主資本経常利益率と財務レバレッジの関係　○



問３

①　経営資本営業利益率　10　％　○

②　経営資本営業利益率：　売上高営業利益率　(％)　×　経営資本回転率(回転)

7.5　％　×　1.$\dot{3}$　回転　○

③　百分比損益計算書

(対売上高) 百分比損益計算書		
売上高	20,000,000 円	100　％
営業利益	1,500,000 円	7.5　％
経常利益	1,000,000 円	5.0　％
当期純利益	800,000 円	4.0　％

○

④　経営資本回転率の分析

ｉ）一般的な、売上高で計算した回転率と回転期間の定義

回転率とは一単位あたりどれだけの売上高を生み出すかを表し、一単位あたりの活用度を表す指標である。　○

一方、回転期間とは手元流動性を表す指標であり、一連のサイクルを実現するために何ヵ月かかるかを表すものである。　○

ii）理論的に正しい原材料回転率	6.0	回	○
iii）理論的に正しい仕掛品回転率	6.2	回	
iv）理論的に正しい製品回転率	7.2	回	
v）理論的に正しい売上債権回転率	6.4	回	○
vi）理論的に正しい有形固定資産回転率	0.1	回	

⑤

売上高で計算した製品回転率は、当期の売上高を獲得するために必要な製品の回転数である。　○

理論的に正しい製品回転期間は、製品が出庫から販売されるまでに何ヵ月手持ちしているかという在庫期間を表す。　○

売上高で計算した製品回転率	8.0	回	○
理論的に正しい製品回転期間	51	日	
⑥　売上高で計算した売上債権の回転率	8.3	回	○
⑦　売上高で計算した有形固定資産の回転率	4.0	回	

問４

①　配当率	12.5	%	○
②　配当性向	12.5	%	○
③　社内留保率	95	%	○

問題２

問１

①　流動比率	120	%	○
②　当座比率	100	%	
③　純金利負担率	1	%	○
④　借入金依存度	18	%	

問２

①　負債比率	62.5	%	○
②　固定比率	125	%	
③　長期資金適合率	137.5	%	

採点基準　２.５点／○　×　２０個　＝　５０点

〔出題意図〕

財務諸表分析の論点を網羅的に学習できるように出題しました。本問を何回も復習することにより、財務諸表分析の論点を習得してください。

＜チェックポイント＞

問題１　**収益性分析**

問１　総資本経常利益率…企業活動全体の収益性がわかる。

問２　株主資本(自己資本)経常利益率(ＲＯＥ)…株主の提供した資本の収益性がわかる。
株主資本経常利益率と財務レバレッジの関係

問３　経営資本営業利益率…経営活動の収益性がわかる。
経営資本営業利益率の分解
売上高営業利益率の分析…百分比損益計算書の作成
経営資本回転率の分析…売上高で計算した回転率と理論的に正しい回転率
（原材料回転率、仕掛品回転率、製品回転率、売上債権回転率、有形固定資産回転率）

問４　**剰余金の配当・処分の分析**…配当率、配当性向、社内留保率

問題２　**安全性分析…資産・資本に関する比率分析**

問１　短期財務安全性分析：流動比率、当座比率、純金利負担率、借入金依存度

問２　長期財務安全性分析：負債比率、固定比率、長期資金適合率

（解　説）

問題１　**収益性分析**

問１

総資本経常利益率：年間の経常利益÷年間平均の総資本　である。

＝1,000,000 円÷20,000,000 円（＝15,000,000＋5,000,000）＝ 5 ％

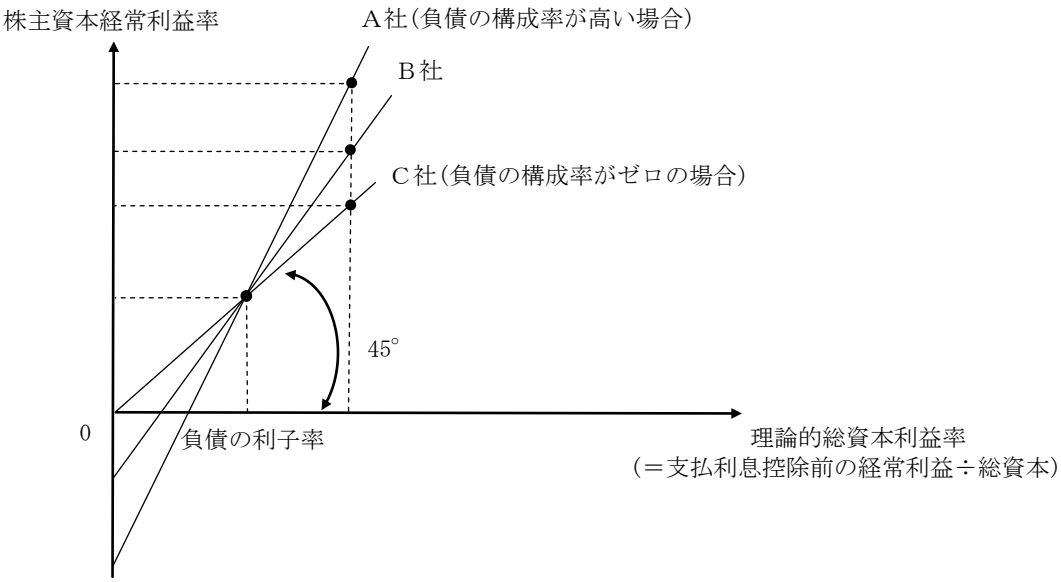
問２

①　株主資本経常利益率：年間の経常利益÷年間の平均自己資本　である。

＝1,000,000 円÷5,000,000 円＝ 20 ％

②　負債を総資本で割った値を財務レバレッジと呼び、負債に対する依存度を表す。

株主資本経常利益率と財務レバレッジの関係について図示すると次のように表すことができる。



このように、財務レバレッジが高まると「梃子の効果」により株主資本経常利益率が高まる。

問３

①　経営資本営業利益率：年間の営業利益÷年間の平均経営資本（注）　である。

＝1,500,000 円÷15,000,000 円＝ 10 ％

（注）経営資本：総資本－（建設仮勘定＋投資その他資産＋繰延資産）　である。

＝20,000,000 円－（1,000,000 円＋3,000,000 円＋1,000,000 円）

＝15,000,000 円

②　経営資本営業利益率は次のように分析することができる。

経営資本営業利益率：売上高営業利益率（％）× 経営資本回転率（回転）

＝（営業利益÷売上高）×（売上高÷経営資本）

＝（1,500,000 円÷20,000,000 円）×（20,000,000 円÷15,000,000 円）

＝ 7.50 ％× $1.\dot{3}$ 回≒10％

③　百分比損益計算書

（対売上高）百分比損益計算書		
売上高	20,000,000 円	100 ％
営業利益	1,500,000 円	7.5 ％
経常利益	1,000,000 円	5.0 ％
当期純利益	800,000 円	4.0 ％

④　経営資本回転率の分析

ⅰ）売上高で計算した回転率とは、一単位あたりどれだけの売上高を生み出すかを表し、一単位あたりの活用度を表す指標である。したがって、一般に回転率が高いほど収益性は高くなる。

売上高で計算した回転期間は手元流動性を表す指標であり、一連のサイクルを実現するために何ヵ月かかるかを表すものである。

ⅱ）理論的に正しい原材料回転率：年間原材料費÷原材料年間平均有高

＝8,400,000円÷1,400,000円＝ 6.0 回

ⅲ）理論的に正しい仕掛品回転率：当期製品製造原価÷仕掛品年間平均有高

＝14,880,000円÷2,400,000円＝ 6.2 回

ⅳ）理論的に正しい製品回転率：年間売上原価÷製品年間平均有高

＝18,000,000円÷2,500,000円＝ 7.2 回

ⅴ）理論的に正しい売上債権回転率：売上債権年間回収額÷売上債権年間平均残高

＝15,360,000円÷2,400,000円＝ 6.4 回

ⅵ）理論的に正しい有形固定資産回転率：年間減価償却費÷有形固定資産年間平均有高

＝500,000円÷5,000,000円＝ 0.1 回

⑤　売上高で計算した製品回転率と理論的に正しい製品回転期間（日数）

売上高で計算した製品回転率：売上高÷製品年間平均有高

＝20,000,000円÷2,500,000円＝ 8.0 回

理論的に正しい製品回転期間（日数）：製品年間平均有高×365÷年間売上原価

＝2,500,000円×365÷18,000,000円≒ 51 日

⑥　売上高で計算した売上債権の回転率：売上高÷売上債権年間平均残高

＝20,000,000円÷2,400,000円≒ 8.3 回

⑦　売上高で計算した有形固定資産の回転率：売上高÷有形固定資産年間平均有高

＝20,000,000円÷5,000,000円＝ 4.0 回

問４

①　配当率：年間配当金÷年間平均払込資本＝100,000円÷800,000円＝ 12.5 ％

②　配当性向：年間配当金÷税引後当期純利益＝100,000円÷800,000円＝ 12.5 ％

③　社内留保率：社内留保額(注)÷繰越利益剰余金＝1,900,000円÷2,000,000円＝ 95 ％

（注）社内留保額：利益準備金＋任意積立金＋繰越利益剰余金(残高)

＝10,000円＋100,000円＋1,790,000円＝1,900,000円

問題２　**安全性分析**

問１　**短期財務安全性分析**

①　流動比率(企業の短期支払能力を知るための比率。銀行家の比率。)

：流動資産÷流動負債＝90,000,000 円÷75,000,000 円＝ 120 ％

②　当座比率(酸性試験比率)

：当座資産(現金、短期預金、売上債権、売買目的有価証券、短期貸付金など)÷流動負債

＝75,000,000 円÷75,000,000 円＝ 100 ％

③　純金利負担率(企業にとって金利負担が重いか軽いかを知るための比率)

：(支払利息－受取利息)÷売上高＝300,000 円(＝500,000 円－200,000 円)÷30,000,000 円

＝ 1 ％

④　借入金依存度：有利子負債(短期・長期借入金、社債など)÷総資本

＝23,400,000 円÷130,000,000 円＝ 18 ％

問２　**長期財務安全性分析**…他人資本に依存していないかどうかを判断する。

①　負債比率：自己資本÷他人資本＝50,000,000 円÷80,000,000 円＝ 62.5 ％

一般的には、負債比率＝他人資本÷自己資本、ですが、比率が大きい方が望ましいとする計算式に統一するためにこの式にしています。以下も同様です。

②　固定比率：自己資本÷固定資産＝50,000,000 円÷40,000,000 円＝ 125 ％

③　長期資金適合率(長期資金で固定資産をまかなっているかどうかをみる比率)

：(自己資本＋固定負債)÷固定資産

＝55,000,000 円(＝50,000,000 円＋5,000,000 円)÷40,000,000 円＝ 137.5 ％

CHECK 欄：	TIME LIMIT 60 分	実施日
	RANK 難易度：普通	得　点
	合格レベル 35 点	

－以上－